

協議会 だより

Vol.24
2019.08.15
サイト



みなさんこんにちは！

今年も、暑い夏がやってきました。草刈り、泥上げなど作業を行う場合は、熱中症対策をしっかりと頂きますようお願いいたします。

今回は、8/5に農水省のホームページに掲載された上伊加利環境保全活動組織(田川市)をご紹介します。

▼第69号の記事はこちらから▼

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

農水省メルマガ「農村ふるさと保全通信」第69号に掲載されました。

■1. 活動組織の活動紹介(1)

～上伊加利環境保全活動組織(福岡県田川市)～

～地区概要～

福岡県の中央部に位置する田川市の山林に囲まれた地域を拠点に活動。

活動範囲は、田28.9ha、畑1.2ha、水路6.2km、農道7.8km、ため池4箇所。

～主な取組～

- ◎ 本組織は、農村環境の適切な保全管理と質的向上を目指し、地域企業や大学、住民とともに自然環境を守り、地域の絆を深めることに力を入れています。
- ◎ 農村環境保全活動として、耕作放棄地を利用した2箇所の水田ビオトープを企業(NECフィールディング)や福岡県立大学と連携して造りました。水田ビオトープでは、幼稚園、小中学校と協力して生き物調査、水生昆虫の保全に取り組んできたところ、絶滅危惧種に指定されている生物(カスミサンショウウオ、ゲンゴロウ等)が見られるようになりました。
- ◎ また、パンフレットの作成、市の広報誌や新聞での紹介等の広報活動の強化により、地域の方々に活動が理解されるとともに、民間ボランティアや大学生等の参加者が増え、地域コミュニティの再構築と環境保全に対する意識が高まりました。
- ◎ 今後は、地域全体でのさらなる連携を目指して、この自然豊かな地域を盛り上げていきたいと思っております。
- ◎ 本組織の取組は、福岡県農地・水・環境保全協議会HPでも紹介しています。

http://mnf21.com/~nouchi_mizu/fukuoka/wp-content/uploads/2017/09/tagawa.pdf

【上伊加利環境保全活動組織 代表 小林 豊康】



企業との連携(NECフィールディング)



水田ビオトープ



生き物調査



広報誌・パンフレット

